

横山幸次

区政報告
ニュース

378

2010年3月21日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail:arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。
「横山区議」で検索して下さい。

「あらかわ遊園」が区の直営に変わります 指定管理制度で区が責任が曖昧に…!?



区立あらかわ遊園

10数社への業務再委託： 賃金未払いや安全管理に問題も

23区で唯一の区立遊園地「あらかわ遊園」は区民だけでなく区外からも多くの子ども連れでにぎわう、人気スポット。財団法人地域振興公社（ACC）が区の指定管理を受け、そこから10以上の下請け事業者に再委託をしていました。

また、一昨年には、強風が吹いた際に遊具が飛び、幼児が大けがをする事故もあり、運行管理のあり方も問われていました。またこの事故の調査報告書に虚偽の記載があったことも明らかになりました（右一覽）。結局区の管理責任が曖昧になっていった結果ではないでしょうか。

共産党区議団は、ACCが求められます。

改善を求めてきました。今回荒川区は、来年4月から区が直接運営に責任をもつ方向に切り替えることを決めました。安全第一で区が公的な責任を果たせるような運営にしていこうと

が区から3億円の基金も積み、屋上屋を重ねるような運営を見直し、区が直接管理運営に責任をもつように改善を求めてきました。

今回荒川区は、来年4月から区が直接運営に責任をもつ方向に切り替えることを決めました。安全第一で区が公的な責任を果たせるような運営にしていこうと

また、一昨年には、強風が吹いた際に遊具が飛び、幼児が大けがをする事故もあり、運行管理の

項目	修正前	修正内容
観覧車の風速計確認	針を定期的に見るよう指示	「定期的」を削除(随時であった)
大型遊具始業時点検	管理マニュアルで点検指示	削除(指示したことが確認できず)
大型遊具の運行判断	平均風速15m/秒以上で運休	風速15/秒以上で所長に判断仰ぎ停止
観覧車担当への所長指示	風速計の針のふれを見るよう指示	削除(指示したことが確認できず)
「ふあふあ」の中断指示	副所長の申し出で所長が指示	担当者の判断で中止されていた
全遊具の中止判断	風速20m/秒超の連絡で所長指示	中止は副所長が事故直後に行った
救急車到着	14:35頃	14:45頃

議会への報告から作成



働く人々を描いた小学生の絵の表彰式(上)
産業展の会場(下)



産業展…区内産業の前途は！ 働く人々を描いた小学生の絵に感動

3月13日、荒川区産業展に行ってきました。開会式では、挨拶など聞いた後の「子ども絵画コンクール」の受賞者表彰が楽しみでした。働く大人を描いた絵は、子どもたちの将来の夢も描かれていて、子どもです。その後会場など見て回りましたが、ものづくり含めて、子どもたちに夢と希望を与えることも、

産業振興の大事な仕事ではないかとの思いを深くしました。ましてや「派遣切り」など人をもののように扱う雇用のあり方を大人の責任で変えることも急がれます。

横山幸次

裏面もご覧下さい
議会報告、昨年の区内
交通事故発生状況など

定例法律相談

4月 5日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

2010年最初の区議会では…パート1 くらしの応援と公的責任が問われました



予算特別委員会の会場



人間らしい介護ができていますか

介護問題では、人間らしい介護ができていますか、問われています。介護療養ベッドなどを一ヶ月利用すると住民税課税では、月最低でも12万円程度かかり、生活を脅かしています。経済的理由で必要な介護サービスが受けられない区民をなくすため、区独自の福祉施策を求めました。

区立3カ所の特養ホームなど介護施設では、胃ろうや重度の方が増え、処遇の困難さや、介護保険報酬が実態にあわないこともあって、低賃金のために雇用の定着率はよくありません。手厚い介護のためさらに区独自で介護・専門職の確保の支援が必要です。

官製ワーキングプアをつくらない対策を

官製ワーキングプアをつくる常勤の非常勤への置き換えなど止めるべきです。現業の退職不補充の政府方針に従い、学校用務、国保、税務など非常勤化、道路・公園工事事務所、学童保育クラブ、保育園給食調理などの民間委託など推進。直接区民と接する部署で、非常勤化や民間委託がすみ、公的責任を曖昧にし、サービスの低下につながりかねません。区が非常勤職員の待遇改善を行っていることは評価します。しかし自治体の住民福祉サービスの基本は人であるという原則を共通の認識にしていくことが求められています。



区民生活に寄り添い「資格証」発行ゼロめざすべき



横山区議が締めくくり総括質疑

疑を行いました。

いま荒川区では、1年以上滞納で国保証を持たない区民が現在800世帯を超えています（代わりに窓口全額自己負担の資格証明書を発行）。全国的には、医療団体の調査で国保証がなく受診できずに亡くなった方が33

人と報告されています。これは氷山の一角です。

3月10日 予算特別委で横山区議は、締めくくり総括質疑。発行対象世帯を全て訪問し、国保証を持たない世帯をゼロにしたといいます。担当者は「会って話せば解決する」とのこと。

区は、徴収はしても、滞納を余儀なくされ国保証のない世帯の実態調査や訪問など直接対応は行わず来庁を待つだけです。やはり、その家庭状況をキチンとつかんで支援し、国保証の持たない世帯がない荒川区にすることを求めました。

昨年の区内交通事故の件数は減少 依然として自転車による事故が半数

昨年の区内交通事故発生件数の報告がありました。前年より減少していますが、死亡事故が3件発生しています（いずれも日暮里地域）。合わせて気になるのが、依然として自転車による交通事故が全体の半数を占めていることです。

平地部がほとんどの荒川区では、自転車子どもから高齢者まで手軽な移動手段として広く使われています。自転車があるから買物も行ける高齢者の方も多いのが実態です。

同時に自転車は、軽車両です。当然交通法規の規制を受けます。無灯火はもとより、傘や携帯通話での片手運転や飲酒運転など交通違反で罰則

もありません。交差点での右折左折にルールがあります。自転車で事故につながった例も少なくありません。今一度、自転車運転のマナーについて考える機会にしたいと思います。



2009年中に発生した区内交通事故発生状況

警察所管内別	発生件数	死傷者数			
		死者	重傷	軽傷	計
荒川署	310	3	3	325	331
南千住署	145	0	3	166	169
尾久署	130	0	0	139	139
計	585	3	6	630	639
前年	674	0	8	744	752
前年比	-89	3	-2	-114	-113

区分	当事者別死傷者数	
	09年	08年
歩行者	99	104
自転車	315	343
原付	31	40
自動2輪	54	64
四輪	140	201
計	639	752